

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 第5回会議		
日時	令和元年8月26日(月)19時～21時	場 所	福野庁舎2階 201会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：8名、地方創生推進課：1名		
内容	・参加メンバーからの提供資料の説明 ・複合交流施設に必要な機能と具体的な取組について		
概要	◆当日配布資料の説明 ◆古瀬氏より、提出資料の説明（資料2） （資料2 公共施設再編計画の視点からの試算（修正案） 整備手法等と、維持管理費等の概算試算（案）） ●メンタルヘルスの話は行わないとの事なので、その代わりに大会議室を追加してみた。芝生については縁側のようなイメージ。 ●4の概算不足額は、今後捻出しなければならない費用。これをどうやってあてがうかを検討しなければならない。 ●これとは別に、複合交流施設を1階に、その上階部分を住宅にするという案もあるようで、これは PFI※方式によるものと伺った。1階部分は、これまでの検討案の内容のとおり、運営主体を福野中部まちづくり協議会とすることが手堅いと考えているが、この案については相手のある話なので、ここでは何とも言えないところ。 ※PFI…Private Finance Initiative(プライベート ファイナンス イニシアティブ)の略称で、社会資本整備の民間事業化のことをいう。公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る考え方。 ◆西氏より、提出資料の説明（資料3） （資料3 産業文化会館利用回数・利用人数、利用先一覧） ●55団体の利用がある。資料の年度等については、再度確認し、次回お伝えしたい。 ●今日は、古瀬氏、西氏からの資料に基づき、一つひとつ検討を詰めていく方法で良いか？→（全員）異議なし ●産業文化会館の利用について、55団体の利用は全て有料か？ ●仰るとおり。 ●資料2の4の維持管理費の概算試算については、産業文化会館の実績を踏まえて算出したもの。テナント料については、いくらが適当なのかが不明確であったので、ライオンズクラブや福野老人クラブ連合会の実績に基づくものとした。また、人件費については、追加となる夜間の分として半日分を試算している。 ●概算不足額が310万円余りも発生する内容で、理解が得られるのか。不足分の対応を予め確認しておかないと、出来もしない話ならここでいくら検討してもムダではないか。 →不足分として310万円余りを計上されているが、福野中部交流センター以外の部分でどんなことをしたいのか、ということによるのでは？庁舎がなくなることに対する地域の賑わいをどうするのか。そして、採算が合うような内容に切り詰めないとならないのではないだろうか。 ●産業文化会館の利用団体や利用者の今後の行き先は考えてあげなければならない。この複合部分でお迎えするべきではないか。 ●テナント空間や物販などの機能があれば集客につながるので問題ないだろう。 →どんなことに使うのかをしっかりと詰めておく必要がある。例えば、通所B型事業を行うのであれば、それに適したスペースが必要かと思うが。 ●資料2の3の整備方法等について、建物の所有権を市が持つというのはいりうるのか？ →交流センター（公民館）のほとんどは市の所有であり、維持管理は地域で行ってもらっている。福野中部の交流センターがベースであれば、市有もありうるだろう。 ●延床面積が廃止対象面積の47%になっているが、この点についてのご意見はいかがか？ ●駐車場スペースは考えられているのか？例えば、100人規模の催物などの場合、せめて60～70台程の駐車台数は必要だと思う。駐車場部分の維持管理をどうするのかということも考えておくべき。 ●産業文化会館の使い勝手の良さは、建物の周囲に駐車場があること。公共施設再編計画を考慮した場合、駐車場も半分にしなければならないのか？また、冬季の除雪費用はどうするのか？ ●駐車場については、建物の建築にあわせて整備してもらえば良いだろうし、除雪についても、		

駐車場整備の際に消雪装置を設置してもらえばいいだろう。必要な電気代は建物の維持管理費の中で見ていく内容とすればいいのではないかと。

- 資料2の5に、福野中部まちづくり協議会が主体で運営し、とある。経営者には決断力と責任力が一番大事であると考えており、福野中部まちづくり協議会に主体で取組むという決意が本当にあるのかどうか不明な状況の今の段階で、このように書くのは非常にナンセンス。
- 他の各地域づくり協議会で、実際に取組んでいることを盛り込んでいるだけだから問題はないだろう。
- 既に建物があって事業に取組むのと、これから建物を維持管理しながら事業に取組むのとは全く違う。特に、概算不足額を310万円余り見込んでいるような内容で、福野中部地区の皆さんが「やる！」と言ってくれるとは到底思えない。この内容で理解を得るのは、なかなか過酷なこと。
- だから、この概算不足額については、指定管理料で補えばいいと思っている。今はこれ以上詰めようがない。
- いかに管理していくかということには課題があるが、産業文化会館で現在行っていることは、建物が変わっただけでは大変わりしないだろうし、後は地域づくり協議会活動を核として取組んでいけば何とかなるのではないかと。貸部屋で儲けようとは思っていない。
- 新築するのだから、他の地区の交流センターと違って、修繕などの費用はほとんど掛からないだろうし、管理もしやすいから問題ないだろう。
- 仮にこの話がまとまって地域に説明する時に、地元の皆さんへの更なる負担増加のお願いに理解を得られるだけの理論武装が我々に出来るかどうか。今の内容では大変不安。産業文化会館、福野中部公民館、ひびきの家の利用者については新たな利用先を確保してあげなければならないし、また、行政センターフロアについては、市民の皆さんが役所に毎日用事があるわけではないから、本当に必要最低限の行政機能があれば良いだろう。内容をもっと詰めなければならない。
- 交流センター部分については、1軒当たり年間2,000円程の負担をお願いするつもり。
- メンタルヘルスの話がなくなったので、寂しいからスペースを広げた。子育てスペースは単なるスペースだけ。他の既存の機能や施設との競合も考えられる中で、このような漠然とした説明で、今挙げている機能が本当に必要な機能と言えるのか？まだまだ精査する必要があるのではないかと。我々が一丸となって、地域を説得出来るだけの共通理解を図らなければならないのではないかと。
- 必要な機能であると説明しても、地元の皆さんから負担金の支払いを断られてしまったら、それでこの話も終わりになってしまう。夜高祭の負担金や曳山の負担金と同様の考え方を地元の皆さんに求めていかないと、先に進まないと思う。
- ボランティアで運営に協力してくれる人材はあっても、運営方法をどうするかということを考えなければならない。例えば、夏休みの子どもの居場所づくりなども、地域づくり協議会の仕事。
- 期間限定ならボランティアの可能性もあるだろうが、通年となるとボランティアでは難しいと思う。ある程度の人件費をみた有償ボランティアでない限り運営は難しいのではないかと。
- 建物の規模は、産業文化会館より少し小さい程かもしれないが、基本的には産業文化会館などの利用団体の行き先をこの建物で確保して、利用団体の要望も踏まえて機能を盛り込めば良いのではないだろうか。
- 310万円余りの概算不足額が、10年後には3,100万円、20年後には6,200万円となる。20年経った時の人口が、今よりどのくらい減少して、この施設が不要なものになっていないのかどうか。それが市の心配するところである。維持管理が指定管理とならないように上手く運営出来る方法を検討することが重要。例えば、行政機能部分の維持管理は市にお任せではなく、市から委託料をもらうようにするなど。資料の内容に反対しているのではなく、幸せなまちづくりを進めるための具体策をもっと突き詰めなければならないと言っている。
- 幸せなまちづくりに対して、どんな機能が必要で、そのためにはどのような仕組みによって人が集まるのか、ということをもっと突き詰めなければならない。もしかすると、産業文化会館利用の皆さんが、新施設ではなくて違う施設を求められるかもしれない。
- メンバーが高齢化している団体が多いため、この機会に団体の解散も有りうる。
- もっと現実味のある話をしなければならない。
- 福野中部交流センター部分については、元々他の地区のような公民館建物がなかったのだから、スムーズに受け入れられるはずだと思っているが。
- 福野中部まちづくり協議会の拠点を作ることに反対しているのではなく、今の若い世代の皆さんが今後、建物を維持管理し、使っていくことになるのだから、もっと慎重にならなければならないと言っているのである。私の世代も含めた上の世代の方々は責任を取れない。

→将来を考えて不安になるのは当然のこと。使い方を変えて多目的に使えるようにするなど、い

ろいろな考え方が出来ると思う。市としては、地域活動が活発になるのであれば地域づくり協議会の拠点をすることは問題ないと思っている。但し、福野地域の提言の中で拠点づくりは目玉だと思っているが、いざ蓋を開けたら福野中部の交流センター機能だけだった、というのでは福野地域の活性化という点で、地元福野中部地区や福野地域の皆さんの理解を得られるのかどうかというところ。

- 必要最低限の賑わい機能は産業文化会館機能だろう。
- 自分の地元の協議会に、産業文化会館のような建物があれば、それで賑わいとなり得るだろうか？検討が不足しているような気がして、非常に心配。
- 高齢者と子どもの交流もあるから問題ないだろう。
- 高齢者の居場所とは、通所B型のことか？
- 基本はサロンとなるだろうが、いずれ通所B型が追加されるとなると良い。日中一人となる高齢者の居場所づくりである。
- 子育てスペースの件で、福野体育館でのアルカスのびのび広場の利用者が多過ぎて飽和状態とのかを受けての、こちらでの検討内容を担当課に伝えたところ、担当課では、出来るだけ小学校に近い所に開設出来るとありがたいとのことだったので、見込みを立てて機能を盛り込むことは可能かと思う。但し、近いうちに、アルカスの大規模改修が予定されており、その時に増築ということも考えられ、もしそうなれば、ここでの検討は不要になるかもしれない。
- アルカスに行かない子どももいる。アルカスに行くのは大体3年生までで、4年生以上はアルカスよりも家に居た方が良くと言う子どもが多いように思う。
- 子どもたちの顔を見ることで、高齢者が元気になるということから、提言に盛り込んでみたものの。アルカスを増築して子どもを詰め込む、というのであれば、こちらで無理に子育て交流スペースを入れる必要はないだろう。
- 高齢者の元気付けに子どもが居る、というのはなかなか魅力的ではないだろうか。今後、高齢者サロンは絶対に必要になってくると思うから、それに併せて子どもと絡めた事が出来れば良いのかもしれない。
- 小学校高学年向け機能として、塾みたいなものがあったとしても良いかも。アルカスとのすみ分けなどで、賑わいを持たせるという可能性もあるだろう。
- 以前の会議では、教員 OB のボランティアグループで子どもたちの宿題を見る、という発言があった。
- ある程度話が進んできた段階で、そういった人たちにもこの会議に参加してもらって、「出来る！」と言っていたきたい。その他にも、例えば 17 時、18 時でアルカスが終わるのであれば、それよりも遅い時間まで受け入れるなど、アルカスが預かってくれない時間帯に対応すれば、子育て世代の核家族などのニーズもあるだろう。また、福野の行政センターにたくさんの来客があるとの話もあったが、行政センターの用事が終わって、それだけで帰られては、現状と何ら変わらない。行政センターに来た時に何か他の事も出来る、という事が必要なのではないか？今ある機能を右から左へ移しただけでは何にも変わらない。その点について、もう少し議論を深めていただきたい。
- 交流センターのような施設の開館時間は午前9時から夜9時までが一般的と考えるが、先程の話にあった遅めの時間までの児童の預かりについては取組むべき事柄と考える。
- アルカスで取組んでいないような土日にも対応したら良いのではないか。
- 協議会としては、地域のニーズに合わせた活動をしなければならない。
- ニーズ調査のための住民アンケートの実施は可能か？
- 可能だと思う。行政主体で行っても良いし、協議会主体で行われても良いと思う。何度も言うが、施設を建てるからどんな機能を入れるか、ではなく、こんなことをやりたい、あんなこともやりたいからこれだけの面積が必要、という流れで話を進めないと、理解は得られない。ここで目一杯アイデアを出した上で、アンケートの実施や、若い人の意見を聞いた方が、安心して取組む内容になるのではないだろうか？
- 福野まちづくり協議会での企業向け居住意向アンケートの結果では、共働き世帯が安心して暮らせる環境があれば移り住みたいと思っている。小学生の放課後をどのように見守るのか、ということを目玉にすれば、仮にファブリカ跡地の残りの部分を宅地造成したとしても十分ニーズはあると思う。
- そのためにも、スタッフの確実な確保は重要。これまで、放課後児童クラブのスタッフをいくら募集しても応募がなかったのだから、それをボランティアでやるとなると相当大変だと思う。
- 何か上手く働いてもらえるようなシステムがないと確保出来ないだろう。例えば、町内や集落の小さい範囲なら受けてもらえても、地区の範囲になると大きくなってしまい、その分責任も付いて回って難しいだろう。
- 人の命を預かるのだから当然だろう。
- 高齢者サロンも同様だが、町内や集落の範囲だと歩いて行けるようなものが、地区全体にな

ると、それ以上の魅力となるような内容で取組まないと人は来ないだろう。

- しっかりとした指導者などがいる、という安心感を謳わないと難しいだろう。後は、人が人を呼ぶ。

→なかなか人材が見つからないにしても、こんなコンセプトでやる、ということで内容を詰めてもらうと良いのではないか。

- 資料2については、駐車場も追加して、どういう運営方法にするのか、運営の観点も加えたものに修正したい。

→どのようなニーズに基づくものなのかも確認してほしい。絶対しなければならない事柄についても、どのようにニーズや賑わいに結び付けていくかが重要。

- 次回会議に向けて、賑わい創出の提案を宿題としてはどうか？

→次回開催案内に様式を付けて、最低3つほど案を出してもらうようにしたい。

- 事前に集めて、それを、次回会議に資料提供していただきたい。

→了解した。

◆次回会議

日時: 9月20日(金)午後7時から

場所: 福野庁舎2階 201会議室

内容: 複合交流施設に必要な機能と面積、及び維持管理に係る経費の検討

福野地域提言実現検討会議

拠点づくりグループ R元8.26(月) 第5回

資料2 (古瀬氏提供)

— 前回からの変更点 —

- ・メンタルヘルス なし → 中部交流センター
大会議室、会議室の
面積(増)

・維持管理費の概算試算

▽概算不足額 311万円余り

今後検討
すべき額
要検討

▽テナント料 (ライオンズ月1万×12月
実績を計上 (福野龙連 年額1万円

▽夜間分の人件費とい 半日分と計上

資料3 (西氏提供)

- ・利用団体 55 ← 全て料金を
もっている

質疑応答

・概算不足額の手当をどうするか?

この資料の内容では理解が得られない

中部交流センター以外の部分で
どんなことをしたいのか

- ・地域の賑わいはどうする?
- ・採算が合うような内容にすべき

・指定管理料で補う?

テナント?

物販?

・維持管理が指定管理とならないように
上手く運営できる方法を検討すべき

幸せなまちづくりに向けて、議論を交わす機会を
つくる

・必要な機能

・人の集まる仕組み

中部の皆さん
福野の皆さんの
理解が必要

福野地域の活性化に
ついで理解を得られるように

・必要最低限の賑わいは 産業文化会館機能 かと。

+

・ 高齢者と子どもとの交流



・高齢者の元気づけに子どもがいるのは 鬼力 的

・ 高齢者サロンと子どもを絡めた取組 を考える

・アルカスに行かないような

小学校上学年(4年生以上)向けの機能 の必要



アルカスとのすみ分け

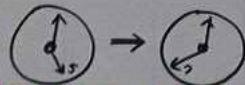
① 塾 みたいなもの ←

前回発言

教員OBのボランティアグループで
子どもたちの宿題を見る etc

② アルカスが終わる時間 (ex. 17時, 18時) よりも
遅い時間まで、子どもを受け入れる。土日も!

→ 中部でも取組みたい!



子育て世代の核家族向け

・小学生の放課後などどのように見守るかを目玉に!
十分ニーズはありそう



・ スタッフの確実な確保 **(必要)**



◎ 上手に働いてもらえるようなシステム構築

働く以上のメリットがほしい...



→ 対象が、中部地区、福野地域全体と
広くなると、思っている以上の鬼力ある内容
で取組む必要あり

・ 駐車場も建物周囲に必要

**最低60台
必要**

産業文化会館の使い勝手の良の一

・建物整備に併せて
行えばよいだろうか。

・馬埤場整備
・消雪装置設置

電気代は建物の
維持管理でまかなう

◆ 次回 ◆

・ 販わい創出のアイデア出し

↑ 次回までの宿題. 1人3案程

・ 運用や運営方法

・ どんなニーズに基づくのか.

※ 全ての取組について、どのようにニーズや
販わいに結びつけるか.

・ どんな効果が得られるか.

9/20(金) 19時 ~

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 会議		
日時	令和元年 7 月 29 日（月）19 時～21 時	場 所	福野庁舎 2 階 201 会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：6 名、地方創生推進課：2 名		
内容	・参加メンバーからの提供資料の説明 ・複合交流施設に必要な機能と具体的な取組について		
概要	◆当日配布資料の説明 【資料の訂正あり】 （資料 1）前回の会議録の 3 ページ目中ほど 中部地区の公民館（交流センター）の維持費 誤）300 円/年・世帯 →正）250 円/年・世帯 ◆古瀬さんより、提出資料の説明（資料 2） （資料 2 公共施設再編計画の視点からの試算（修正案）） 廃止する施設の延床面積と、新しい核となる拠点施設の規模イメージとの比較 ●Ⅱの住宅開発は、ファブリカ跡地の残りの部分で行うイメージ。 ●駅周辺整備について、まる嘉の前の道路（市道東新町駅前線）は、敢えて一方通行か通行止めにした方がいいのでは。高校再編により、通学生が増えていると言われるが、実際のところは昔と比べれば減っている。今まで殆ど事故が起こっていないのだから、引き続き事故が発生しないような工夫を取り急ぎ行うべき。道路改良などの計画は時間をかけて取組めばよいのではないか。 ●今日は、古瀬氏からの資料に基づき、一つひとつ検討を詰めていく方法で良いか？ →（全員）異議なし ●メンタルヘルスの関係は、どのように扱えばよいか。テナントとして入ってもらう方法しかないのではないか。 ●幼児子育て空間の機能について。市内の公立保育園には子育て支援センターが併設されている。利用実績がどの位なのか確認する必要もあるが、保育士が配置されていて相談も出来るし、遊具も充実している。このような現状で、今回のこの複合交流施設に改めてこのような機能を入れるというのは、子育て支援センターの機能とは違う、何か目玉があるということか？ ●幼児子育て空間は、特に専門家を置かずに、気軽に交流できるような場所の提供をするイメージ。 ●スペースがあるだけか？ ●基本的にはおっしゃるとおり。 ●メンタルヘルスコミュニティで言えば、「これだけのスペースが欲しい」ということではなくて、このエリアをどのようなイメージで捉えるのか、ということが大事。メンタルヘルスコミュニティに見合ったようなものでないならば、診療所機能は入らないだけのこと。 ●見合ったようなテナントスペースを検討しなければならないのではないかと。以前の提案を伺って、もしそのようなニーズがあるならば、私たちも前向きに検討したいと思った。必要であれば、市に頼むのではなく、私たちで考えながら探さなければならない。需要はあると思っているが。 ●診療の需要はある。 ●その需要がどれだけなのか、また、どのような設備が必要なのが見えない。 ●たくさんの需要があっても、応じてくれる医師が必要。私たちが頼んで引き受けてもらえるのか、あるいは、市長が頼みに行かないと引き受けてもらえないのか。それとも、ここにこんなスペースがあるからやってくれないか、と頼めば、引き受けてもらえるものなのか。そんな簡単に決まる話ではないと思う。 ●根本の話になるが、そんな大事な機能を複合交流施設の中に入れても良いものだろうか。切り離して、別棟にした方がよいのではないかと考える。 ●資料 2 にあるように、いろいろな機能があるけれども、果たして維持出来るのか。スペースがあるだけで人は来るのか？例えば、放課後児童の居場所づくりは、一体誰がお世話するのか？ ●私の地元の協議会では、部会として取り組んでいる。別の部会では、通所型サービス B の事業もスタートしている。中部の協議会でも、いずれは取組むべきメニューである。 ●誰が世話をするかと言えば、大まかに言えば、中部まちづくり協議会での組織体制の中で取組むのが一番良い。		

→前回の議論では、福野中部公民館（交流センター）が中心となって、費用も市からの地域づくり交付金を中心に充てて、不足分はテナント料で賄う、あるいは、福野地域の各地域づくり協議会からのバックアップもあっても良いのかもしれないということであった。このように、福野中部まちづくり協議会が主体となって、という話になっていた。そこで気になるのが、提言に「賑わいを作ろう」と謳っているのに、交流センター主体の施設で、果たして賑わいが作れるのかどうかという点。資料5に、今後の検討点をまとめてみた。資料2にある面積は、これまでのご意見や古瀬氏のご経験や勘に基づいてのものと推察するが、そのような考え方ではなく、どのような内容・規模のものが必要なのか将来的な利活用を見据えた検討が必要。

◆事務局から、資料5の説明

- ・資料2の「6 解決できる課題」の①②③に基づいて、項目毎に確認・検討すべき事項を挙げてみた。
- ・人口予測については、資料6を参考にされたい。

●人口の観点から機能設置の判断をするのではなく、「これからどのような機能が必要か」という観点から判断するものである。高齢者を地域で見守る必要性も高まっており、市長からも通所サービスB型の取組みを頼まれている。高齢者も子どもも増減はあっても、少なくともゼロになることはないから、支援するスタンスは当然必要である。人口が減るから不要という議論ではない。

→不要とは言っていない。必要な面積算出の参考にするなどに利用していただきたいということをご理解いただきたい。

●資料では「ヘリオスや福野体育館を活用する」とあるが、活用しても拠点にはならないのではないか。使用料を支払って使うような場所が、果たして拠点と言えるのか？

●「拠点」として考えると、そこまでのものが本当に必要なのか、とも思う。若い人にとっては、中部公民館の機能を盛り込むのが本当に必要なのか。ヘリオスなどの既存施設をしっかりと活用していく方が、無駄なお金を使うよりも良いのではないのか。

●どんな風に活動出来るのか、責任者になったつもりでイメージして、発言してはどうだ。

●先日から言っているのは、スクラップアンドビルドで複数の建物の1/2か1/3の面積の物を建てようということ、全く同様の物を建てるとは言っていない。ただ単に作ろうと言っているのではない。

●私も検討会議のメンバーだったので、提言検討の経緯は十分理解している。しかし、ヘリオスも福野体育館の会議室も活用した中で、本当に必要な会議室の数を検討すれば良いと思う。

●仮に複合交流施設を建てたなら、それを運営していくメンバーは何人位になるのか。福野中部まちづくり協議会の事務局は何人いらっしゃるのか？

●事務局長に、事務局員2名の計3名で、常時2名が公民館に在席し、半日勤務である。

●現実的な問題として、それだけのスタッフで、どのくらいの規模の施設を運営出来るのか？理想はあるけれども、なんでもかんでも機能を入れても運営することが出来るのか？

●これが、なんでもかんでもに見えるのか？むしろ、まだ足りないと思っているのに。

●建物の全てを、中部まちづくり協議会で見る訳ではない。この内の500㎡程が協議会分として相当だろうと思っている。残りの1,000㎡程は、複合交流施設として、産業文化会館機能を入れるなど、交流センター以外の部分として見てもらわないといけない。中部の協議会の事務局だけで、この建物全体を見るのは無理がある。

●仮に、指定管理になったら、どこが受け手になるのか？

●福野中部まちづくり協議会で受けたいと思っている。現在も、産業文化会館の指定管理を受けている。このままの体制で受けていけば良いと思っている。

●小規模多機能自治を進める中で、指定管理との関係性は問題ないのか？

●それは、全く問題ないだろう。

●ゆくゆくは交流センターも指定管理になるのではないかとと思っている。NPOなりの法人格を協議会が取得して、ということになるとは思っているがどうか。

→交流センターの管理の今後の方向性について確認しておく。

●現状の施設規模であれば、交付金のうちの公民館管理費と1世帯年間250円の負担で賄えている。仮に、施設が大きくなると、他所の協議会と同額程度の負担を各世帯にお願いすることになるだろう。中部の人口規模なら500㎡程なら相当だと思っているが、これが建物全体1,500㎡程の維持管理費用を中部のみで賄うのは到底無理である。

●ヘリオスでやれるものならヘリオスでやっても良いが、一体どの部屋を使えばいいのか？

●産業文化会館の年間16,000人の利用で、利用料収入はどれだけか？

- 資料4でご確認いただける。
- 全国のどの例をみても、独立採算制の地域づくり協議会はない。
 - 地域や民間にばかり負荷を課すようなやり方になっている気がしてならない。
 - 合併して明らかに職員の数は減っているし、庁舎統合によって、市民センター以外の職員は福光へ行ってしまう。これまでと同様に行政に頼れなくなることは明らか。地域のことは地域でやるしかない。
 - お金をどうやって生むか。
 - 物販やコンビニがテナントに入ってくれば、全く違ってくるのだが。
 - 公民館と複合交流施設とを分けて建てることも可では。今は一体的なものを考えているが。
 - 複合交流施設に、中部公民館が入るイメージか？
 - その通り。しかし、中部だけでやるのではなく、福野地域全体で取組むイメージ。
 - 産業文化会館は、現在どんな団体が利用しているのか？
 - 夜高祭連絡協議会、ライオンズクラブ、学習塾、趣味のサークルなど。
 - 利用団体のリスト化が必要。利用人数、利用日数などの資料もあると良い。産業文化会館がなくなるのなら、今利用している団体の次の活動の場の確保が必要になる。
- 産業文化会館の平成30年度の収入内訳は、利用料収入1,178千円、家賃収入326千円、指定管理料、繰越金。
- 産業文化会館の魅力は、何と言っても利用料金の安さ。高くなったら、利用してもらえないかどうか。
- 料金が高くても、利用してもらえるような魅力が必要になってくる。
- ライオンズクラブの立場から言わせてもらおうと、産業文化会館がなくなると、新たな場所で、事務室と例会用に広い会議室が必要になる。
 - 産業文化会館とヘリオスしかない。ヘリオスは料金が安いし、使い勝手が悪い。
 - 産業文化会館は、テナントとしての使い勝手が良い。
 - 事務室と会議室が隣接していないと使いにくいだろう。
 - 産業文化会館利用団体の今後の行き先を考えないといけない。活動場所がなくなったら、解散もあり得るだろう。現在の産業文化会館程度の利用料金で、事業計画をしっかりと立てて採算が見込めるようにしないとゴーサインは出せないだろう。
- 交流センターに対する市からの管理費用は継続してあると思う。それよりも、必要最低限のやる事だけでいいのか？提言にあるような賑わいづくりの検討は必要ないのか。
- ボランティアグループの企画運営による、賑わい、交流づくりをイメージしている。
 - 必ずお金を生んで、そのお金で運営していくような仕組みが必要。ボランティアでは続かない。人件費を考えるなら、年間200万円程の収益は必要と考えている。
 - 産業文化会館の機能でその位確保出来ないと難しいだろう。
 - 中部の1世帯年間250円の負担は、現在の87㎡の交流センターに対する金額か？
 - その通り。今の規模なら、このお金と市からの管理費で十分賄える。今後、面積を500㎡程にするなら、1世帯年間2,000円程にせざるを得ないだろうと思う。
 - 概算でもいいから収支予算書があると、次の検討もしやすい。
 - それと、誰がやるのか、というのは大切。いくらボランティアでも動ける人は限られている。そんな人がどの位いるのか把握した上でも検討すべき。
- 建物を建てるのは市で行っても、維持管理は市で見られない、ということはこれまでお伝えしてきていますとおり。そのことを踏まえれば、面積は必要なものだけとすべきであり、他地域との比較に因るようなことは避けていただきたい。また、ファブリカ跡地の産業廃棄物問題は解決していないと聞いており、少なからず、影響を受けるかもしれないことは了解いただきたい。
- 今後の検討の中で、各々の根拠づけを整理しなければならないので、産業文化会館の利用団体と利用日が分かる資料をお願いしたい。
 - 了解した。
- 各利用団体の利用日の調整が可能であれば、最低限必要な面積を捉えることが出来る。そして、維持管理費を抑えるように出来ればと考える。

◆次回会議

日時：8月26日（月）午後7時から

場所：福野庁舎2階 201会議室

内容：複合交流施設に必要な機能と面積、及び維持管理に係る経費の検討

◇産業文化会館の利用状況については、福野中部まちづくり協議会で作成

福野地域提言実現検討会議 グループ 1 【新しい核となる拠点づくり】 検討資料

I 複合交流施設

1 公共施設再編計画の視点からの試算（R1,7,29の修正案）

(1) 福野地域内でのスクラップ & ビルト で50%削減目標

新しい核となる拠点施設						廃止する施設		
施設名	行政施策との関連	区 分	施設内容/規模のイメージ		延床面積(m ²)	施設名	延床面積(m ²)	
複合交流施設	小規模多機能自治の推進	中部まちづくり協議会	事務室		20	福野産業文化会館	1,062	
			大会議室	150名規模	250	福野中部公民館	87	
			会議室2	50m ² ×3	150	ひびきの家	194	
			調理室		60	(福野庁舎)	(5,578)	
			物置等		20	内行政センター707	285	
	高齢者の地域で支え合う体制づくり	高齢者の居場所づくり	高齢者交流スペース	40名規模(40畳)	60	旅川福祉交流館	1,269	共同作業所はファブリカ跡地(マツ園)へ、就労支援はメーブルへ譲渡を検討
	子育て支援	放課後児童の居場所づくり	児童学習スペース	40名規模(40畳)	60			
		幼児子育て空間	子育て交流スペース					
	行政改革	行政センター	行政サービス窓口		150			
	観光の推進	産業・観光等PR空間			50			
	生涯学習	一般サークル活動等	会議室2	45m ² ×2	90			
	持続可能な運営	テニスコート	一般テニスコート	25m ² ×3	75			
			物販テニスコート	30m ² ×1	30			
		インテリゲンシア空間	芝生広場へのインテリゲンシア空間		50			
		その他空間	玄関/ロビー/廊下/トイレ空間等(延床面積×0.3)		300			
		(屋外空間)	(芝生広場)		(1,000)			
合計	今回廃止対象面積に対する47%				1,365			
施設の目標面積	廃止面積に対する50%目標面積				(4,100)	廃止面積	(8,190)	
	今回廃止対象面積に対する50%目標面積				1,450	今回廃止対象面積	2,897	
	// 旅川福祉交流館除く目標面積				(820)		(1,628)	

2 場所

ファブリカ跡地(用地は南砺市)

3 整備手法等【PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携)】

PPPには、PFI方式、指定管理者制度、公設民営(DBO)方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなどが含まれる。

整備区分	整備手法	建設主体	所有権	維持・管理運営	備考
①	複合交流施設 単体整備	指定管理者制度	南砺市	指定管理者(中部まちづくり協議会)	
②	複合交流施設と 住宅を一体整備	PFI方式 (BOO又はBTO)	民間	複合交流施設(市 が区分所有又は賃 貸契約)	中部まちづくり協議会、民間
				住宅(民間)	民間

4 維持管理費等の概算試算(案)

	経費の内訳		概算額(年間)			負担方法・ 金額	概算不足額 (年間)
	施設区分	経費の内訳等	維持・管理費等	人件費	合計		
必要 経費	市行政庁等	行政庁等、産業・観光等PR等 (管理人件費等含む)				南砺市	0
	中部まちづくり 協議会等	中部まちづくり協議会等、芝生へのインタラク 空間、その他空間	3,000,000 (小修繕含む)	4,962,120	8,809,680	まちづくり協議 会 5,321,120 (4,962,120+359,000)	3,488,560
	児童学習スペース 高齢者、子育て 交流スペース	企画運営はボランティアグループ		847,560			
	趣味、サークル活動 スペース	生涯学習関連以外の趣味・サークル(50回/年× 1,500円=75,000円) 各種団体等(50回/年×1,500円=75,000 円)				利用料 150,000	△150,000
	一般テナントスペース	3室×10,000円/月×12				賃借料 360,000	△360,000
	物販テナントスペース	30,000円/月×12				賃借料 360,000	△360,000
	芝生広場	芝生広場管理等	500,000		500,000		500,000
	合 計		3,500,000	5,809,680	9,309,680	6,191,120	3,118,560

5 運営主体の検討（案）

- (1) 指定管理者制度 ① 中部まちづくり協議会が主体的に運営し、維持管理運営費の不足分は指定管理者となり運営。

6 持続可能な運営方法の検討（案）

- (1) 施設整備の観点 ① PFI方式の検討
② 建設時の太陽光パネル設置等により電気料の節減
- (2) 運営上の観点 ① ティルトによる収入 ② 地域での物品販売 ③

7 解決できる課題

- ① 中部まちづくり協議会の活動拠点施設の確保
② まちの核となり、交流賑わいを創出し、まちを活性化
③ 子育て支援、高齢者の居場所づくりなど
共働き世帯の子育て支援体制を充実するため、運営ボランティアグループの立ち上げを検討。

Ⅱ 住宅開発

- 1 現状と目標 ① 南砺市の人口減少対策を福野で実践。（南砺市外からの就労者が多い企業が立地する、福野地域の優位性を活かした定住化対策）
② 保育園、小学校、中学校、高校、そして体育館、図書館等がエリア外に配置されているまちの優位性、教育環境の良さを生かす。
② 都市計画に沿った、「エリア外なまちづくり」を推進することにより、まちの賑わいと活性化を図る。

- 2 場所等 開発跡地、庁舎跡地（用地はいずれも南砺市）

- 3 産官民による整備の支援体制
- | | |
|----------|---|
| ① 整備主体 | 民間宅地開発業者 |
| ② 行政の支援 | 「エリア外なまちづくり」の観点から、用途地域内で住宅開発を行った、住宅の購入者に対する市の助成制度を創設。 |
| ③ 市民グループ | ボランティアの立場で、企業就労者へのPRや行政、民間開発業者との連絡支援。 |

29年度 会館利用回数・会館利用人数

月日	利用回数	利用人数	
目標	1 3 0 0	1 8 0 0 0	
30年4月	1 0 2	9 5 4	
5月	9 3	8 6 7	
6月	9 7	1 0 0 2	
7月	8 6	1 3 0 1	
8月	7 6	8 0 3	
9月	8 2	7 1 0	
10月	8 5	9 1 5	
11月	1 0 3	8 0 8	
12月	8 1	6 3 4	
29年 1月	7 0	6 3 4	
2月	7 2	9 8 5	
3月	1 0 5	9 1 7	
合計	1 0 5 2	1 0 5 3 0	
	8 0 . 9 %	5 8 . 5 %	

会館利用先一覧表

NO 1

区 分	NO	利 用 者 名			利用目的	会員数	利用室	利用・開催日
学 習 塾	1	パンえいごの森			英 語 塾		二階・市民教養室	毎週 金曜日
	2	ラボパーティー			英 語 塾		三階・和室	木曜日 月4回
サークル	1	オカリナハーモニー西			オカリナ		福祉談話室	火曜日 月2回
	2	金 曜 会			詩 吟		サークル室	土曜日・月3回
	3	松風会中央教場			詩 吟		サークル室	土曜日・月3回
	4	エデルワイス			合 唱		集会室	木曜日・月3回
	5	真向法体操			体 操		2階和室	木曜日・月4回
	6	寿 詩 吟			詩 吟		サークル室	金曜日・月3回
	7	寿 俳 句			俳 句		サークル室	火曜日・月2回
	8	コーラスあかね			合 唱		集会室	土曜日・月2回
	9	伸 アート			絵		講堂	土曜日・月2回
	10	庵唄			唄・三味線・笛		集会室	日曜日・月2回
教 室	1	かな書道			書 道		サークル室	土曜日・月3回
	2	佐々木書道教室			書 道		市民教養室	水曜日・月2回
	3	琴 工 房			大正琴		福祉談話室	火曜日・月2回
	4	琴伝流大正琴			大正琴		集会室	水曜日・月3回
	6	花まつフラワーアカデミー			フラワーアレンジ		サークル室	木曜日・月2回
	7	フラワーサークル			フラワーアレンジ		市民教養室	火曜日・月4回
	8	絵手紙の会			絵手紙		福祉談話室	木曜日・月3回
	9	藤本土曜会			三味線		2階和室	土曜日・月3回
	10	藤本わかば会			民 謡		サークル室	火曜日・月3回

会館利用先一覧表

NO 2

区 分	NO	利 用 者 名		利 用 目 的	会 員 数	利 用 室	利 用 ・ 開 催 日
町 内 会	1	第4区町内会		総会及び町内会	80人	集会室・三階和室	年4～6回
及び諸組合	2	福野菓子組合		役員会	15人	サークル室	年6回
	3	一天会		世話人	10	サークル室	年4～6回
	4	砺波地区クリーニング組合		役員会	20人	集会室	年3回
	5	砺波地区理容組合		役員会		サークル室	年3回
	6	福野小売酒販組合		総 会		二階・講堂	年2回
	7	福野地域住宅相談所		役員会	30人	福祉談話室	年4回
文化団体	1	福野美術協会		総会・役員会		集会室・サークル室	年8～10回
	2	南砺市洋画連盟		世話人会		サークル室	年3～4回
	3	福野川社		川 柳		サークル室	年10回
	4	福野短歌教室		短 歌		2階市民教室	年 4～5回
・福祉団体	1	南砺市身体障害者協会		総会・役員会		集会室・サークル室	年2～3回
	2	ヘリオス音楽祭実行委員会		総会・役員会		集会室・サークル室	年2～3回
	3	手話サイクル				サークル室	火曜日月3回

区 分	NO	利 用 者 名			利用目的	会員数	利 用 室	利用・開催日
地域諸協会 及び各団体	1	夜高祭連絡協議会			総会・集会	80人	集会室	年3～5回
	2	福野夜高保存会			総会・集会		集会室	年2～4回
	3	福野曳山保存会			総会役員会		集会室	年2～3回
	4	福野中部まちづくり協議会			総会・集会	50人	集会室	年3～5回
	5	となみライオンズクラブ			例 会		二階・講堂	年8～10回
	6	福野老人クラブ連合会			総会役員会		集会室・サークル室	年8～10回
	7	南砺市老連加・リンク'協会			役員会		サークル室	年2～3回
	8	福野中部公民館			ミニ行燈・武者絵制作教室		三階・大会議室	1～4月 毎日
	9	コラース 赤とんぼ			合 唱		1階 集会室	年1～2回
	10	福野山岳会			総会役員会		三階和室・サークル室	年4～6回
	11	百寿会			総会役員会	15	集会室・サークル室	年2～3回
	12	福野中部老人クラブ協議会			役員会		集会室	年4～6回
展示会及び 営利関係	1	北陸補聴器			商品説明会		サークル室	毎月1回
	2	アトラス			体験研修		サークル室	年2回
随時	1	株 新陸運送			世話人会	40	1階 集会室	随時
	2	福野中学同窓会			世話人会		サークル室	随時
	3	福野サッカー部			総 会		2回講堂	随時
	4	北陸医療 検診			君臣		1階集会室	随時